

人権教育だより

令和4年12月 4日

宇部市立琴芝小学校

人権教育部

12月4日～12月10日まで、人権週間です

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合の総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。この採択日である12月10日は、「人権デー (Human Rights Day)」と定められています。

今なお、様々な人権問題が依然として存在しています。これらの問題を解決し、持続可能な開発目標 (SDGs) が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが必要とされています。この12月4日から12月10日までの人権週間に、お子さんと一緒に人権について改めて考えてみてはいかがでしょうか。

さて、10月に行われた人権教育参観日では、ご多用中、授業参観・講演へのご参加ありがとうございました。たくさんの貴重なご意見・ご感想をお寄せいただき感謝申し上げます。その中の一部ですが、紹介させていただきます。今後も、人権教育推進にお力添えをよろしくお願いいたします。

人権教育講演会の紹介

人権教育講演会では、講師にやまぐち総合教育支援センター・子どもと親のサポートセンター・ネットアドバイザー 片山 昭治 様をお招きし、「あなたを取りまくネット社会」という演題で、ネット社会における人権問題についてご講演いただきました。ネットに書き込んだ内容によって炎上したら、その後はどうなっていくのかを実例をもとに話していただきました。また、ネットで書き込んでよいことは、玄関に貼り出すことができることだということ学びました。



< 児童の感想 >

- ・ネット上には、人の写真をのせたり、悪口を書いたりすると、犯罪になるから、これをやったら、この後どうなるかななどを考えたいと思います。ネット上に何か書くときは、玄関にはれることだけを書いていいということをわすれず、生活の中でも気を付けます。
- ・講演を聴いて、ネット炎上はとても危険なもので、未来のことも影響がでてしまうんだなと思いました。だから、これからトラブルにあわないように、日頃から家族と話をしておこうと思いました。
- ・講演を聴いて思ったことは、もし玄関に貼れないようなことをネットにあげてしまうと、その人だけが悪くなるのではなく、いろいろな人に迷惑をかけてしまうということが分かりました。ネットはとてもこわいなということが分かりました。
- ・インターネット上は、想像以上にこわいなと思いました。変な投稿を待っている人たちがいるなんて思いもしませんでした。その変なサイトをコピーするとかの頭をほかのことにつかえばいいのになと思いました。

< 保護者の感想 >

- ・親としても漠然と分かってはいたものの、まだ先の話だと他人事のように思っている部分があったので、改めて話を聞いて、家族間で早めに話し合おうと思いました。
- ・ネットのことを詳しく知ることができ、改めて怖さを考えさせられました。親子で話し合っって上手に使っていきたいです。
- ・ネット炎上とはよく耳にしますが、具体的にどんなことか知らなかったもので、とても恐ろしいことと理解しました。子どもに携帯電話を持たせるご家庭も増えているようで、子どもたちを守るために親がしっかり管理していかなければいけないと思いました。
- ・ネットは手軽に使えるけど、使い方を間違えると大変なことになるので、家庭で今一度話し合いをしようと思いました。

ネットは便利なものですが、使い方を間違えれば犯罪に巻き込まれる可能性もあります。そうならないためにも、ご家庭で使い方等についてよく話をして、「〇〇はしてはいけない」だけでなく、「〇〇はしてもよい」という約束を決めてみてはいかかでしょうか。